

滝川小学校

所在地 〒530-0043 北区天満1-24-15
 電話番号 06-6351-1582
 校長名 原 宏次
 U R L <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e511000>



教育目標

自ら考え判断し、心豊かに生き抜く子どもを育てる。

【めざす子ども像】

- ㊦ 確かな学力(知)
- ㊧ ガッツな心と体(体)
- ㊨ 気持ちの優しさ(徳)
- ㊩ わかろうとする意欲(意欲)

沿革

- 明治 5年 8月 北大組4区小学校として、旧滝川町(滝川公園北側)に開校
- 明治26年 4月 大阪市立滝川尋常小学校と改称
- 明治44年 11月 現在地(川崎東照宮跡)に移転
- 大正14年 4月 大阪市立滝川尋常高等小学校と改称
- 昭和22年 4月 大阪市立滝川小学校と改称
- 昭和41年 1月 学校給食優良校 文部大臣表彰
- 4月 文部省指定道徳教育研究学校
- 昭和47年 11月 創立100周年記念式典挙行
- 平成 2年 10月 全国小学校理科研究大会 授業公開
- 平成 5年 11月 生活科全国大会 大阪大会 地域・環境科中間発表
- 平成 6年 12月 文部省教育課程研究開発指定校 地域・環境科研究発表
- 平成13年 10月 文部科学省体育・スポーツ推進校 2年次研究発表
- 平成15年 10月 近畿小学校社会科研究大会 授業公開
- 平成18年 11月 「個性が輝く学校づくり推進事業」研究校 授業公開 研究発表
- 平成27年 12月 大阪市教育委員会「学校教育ICT活用モデル校」指定
- 平成29年 1月 日本教育工学協会認定「学校情報化優良校」
- 平成29年 9月 文部科学省指定「次世代学校支援モデル構築事業」実証校 総務省指定「スマートスクールプラットフォーム実証事業」実証校
- 平成30年 2月 大阪市小学校教育研究会総合研究発表会 理科部 会場校授業公開
- 令和 元年 4月 大阪市教育委員会指定「学校教育ICT活用事業」拠点校
- 6月 総務大臣政務官視察
- 令和 2年 9月 日本教育工学協会認定2020年度学校情報化先進校に認定(校務の情報化で受賞)
- 令和 3年 3月 北校舎 竣工
- 4月 大阪市教育委員会指定「学校教育ICT活用事業」重点校
- 令和 4年 4月 日本教育工学協会認定 2022年度学校情報化優良校に認定
- 6月 国立教育政策研究所ICT視察
- 10月 講堂外壁改修工事
- 令和 5年 1月 滝川小学校創立150周年記念式典

学校運営に関する計画

【安全・安心な教育の推進】

○学校生活アンケート「相手や思いや言葉づかいをするようにしている」に対して肯定的に回答する児童の割合を70%以上とする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○学校生活アンケート「ICT機器(パソコン・タブレット・カメラ・大型モニターなど)を使って、自分やグループの考えを伝えることができた。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。

○学校生活アンケート「学校は情報や情報手段を主体的に選択し、活用していく力(情報活用能力)の育成に努めていると思いますか。」に対して、肯定的に回答する保護者の割合を75%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

○令和3年度小学校学力経年調査の児童質問紙「読書は好きですか」の問いに対し、肯定的に回答する児童の割合を70%以上とする。

※学校の目標のみを抜粋して掲載。

【※詳細は学校ホームページをご覧ください】



令和3年度全国学力・学習状況調査の結果

国語	算数	平均正答率(%)
72	74	

結果の概要と今後の方策

【国語】平均正答率で全国を7.3%上回る結果であった。平均無解答率でも、全国平均より2.3%少ない結果であった。また、学習指導要領の内容すべてにおいて全国平均を上回り、着実に学力が身につけている様子が明らかとなった。

【算数】平均正答率で全国平均を3.8%上回る結果であった。平均無解答率でも、全国平均より1.1%少ない結果であった。学習指導要領の内容ごとにもすべて全国平均を上回り、着実に学力が身につけている様子が明らかとなった。

＜今後の方策＞

- 国語科・算数科においても引き続き自分の考えを表現する機会が多い授業デザインを全学年で取り組んでいく。
- 国語科については、「書くこと」のさらなる充実のために自分の考えや意見が伝わるような文を書く機会を他教科とも連携して進めていく。表現したいことが相手に伝わる工夫を意識して推敲する習慣を身につけさせたい。
- 算数科については、問題解決に向けて見通しを持ち、自力解決し、自分の考えを表現し交流を通してより深い学びへとつなげることを通して判断したり考察したりできる力を身につけさせたい。
- 情報活用能力の育成…一人一台端末を効果的に活用しながら、情報活用能力育成のための手立てを授業の中に継続して盛り込ませるとともに、情報手段を主体的に選択し活用していく力の育成を図る。
- 個別最適化された学びを実現していくためにICT機器を積極的に活用しスタディログを蓄積したり、指導と評価の一体化を推進する。

令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果

	握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(m)	反復横とび(回)	20mシットラン(秒)	50m走(秒)	立ち幅とび(m)	ソフトボール投げ(m)	体力合計点
男子	14.44	17.46	34.11	35.81	39.92	10.08	148.81	21.67	49.40
女子	15.57	15.29	38.05	37.86	30.10	9.70	144.71	12.65	51.60

(種目別平均値)

結果の概要・取組の成果と課題

体力合計点については、男女ともTスコア50を上回ることができなかった。質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」の問いに対して男女とも肯定的に回答する児童は全国・大阪市より低かった。1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子は0%で女子は9.5%となったが大阪市の平均より低かった。長座体前屈は、男女ともにTスコアを上回った。1年間を通してコロナ禍の運動制限のある中でも体づくり運動を継続して取り組んできた成果である。本校の児童は「体育授業が楽しい」と肯定的に回答する割合が95.2%であり体育の授業を楽しみにしている。運動制限下でも意欲的に運動に取り組む児童が育ってきている。運動の特性については男女ともに「体の柔らかさ」に成果が見られ「運動を調整する能力」や「すばやく動き出す能力」が高いといえる。コロナ禍の運動制限がある中で学校教育全般を通して健康や体力を保持する力の育成をめざし教科体育の内容や運動遊びの充実や体力向上の取組を継続的に工夫してきた。領域バランスのとれた授業づくりや活動量の多い授業に取り組んでいく。

標準服

紺の半ズボン・ブレザー、白カッターシャツ、黄帽
 紺のスカート・ブレザー、白ブラウス、黄帽
 ○名札(記章つき)は校内のみで着用。
 ○靴下は白を基調とし、紺や黒の単色も可。



創立150周年～特色ある学校園づくりをめざして～

○GIGAスクール構想



滝川小学校は、令和4年 創立150周年を迎えます



○ふれあい班活動



○幼小交流



○地域活動



○体育行事



滝川小学校

堀川小学校

中津小学校

大淀小学校

豊崎本庄小学校

豊崎小学校

豊崎東小学校

豊仁小学校

西天満小学校

菅北小学校

扇町小学校